

自分を見つめる 自分を育てる

コウルアプローチ

あなたは、お子さまが自ら進んで勉強に取り組めない
本当の理由をご存知ですか。

あなたは今、こんなことにお悩みではありませんか？

- ☑ 勉強しているわりに、お子さまのテストの点数がついてこない
- ☑ お子さまの学習への意欲がない
- ☑ 決断時、お子さまが自分で決めることができない
- ☑ お子さまが自分の意見を言えない/他人に合わせる/自信がない
- ☑ お子さまのストレスが溜まっている/元気がない/身体に不定愁訴が出ている
- ☑ お子さまが友達との関わりで悩んでいる
- ☑ 自分自身に、これまでの子育てに自信がない
- ☑ お子さまとの関わりがぎこちない

今の現状、将来的な不安は コウルアプローチで 解決できるかもしれません。

あなたより、ひとあし先に悩みを解決されて、
安心してお過ごしのお母さまたちも、
初めはあなたと同じ状態でした。

それが、コウルが実践している教育ステップ
「コウルアプローチ」をお子さまとお母さまが実践されたことにより、
毎日、生き生きと楽しく生活されているのです。

体験談やインタビュー動画に興味を持たれましたら、
「生徒、保護者の声」ページをご覧ください。



「子供が自分から積極的にしないから、親が管理する」
「子供のやる気がないから、ガミガミ叱ってしまう。」
どうして、ぴったりの解決策ではないのでしょうか？

あなたに、ひとつ例え話をします。私が以前見たテレビ番組の話。

新築住宅に住み始めて数ヶ月のこと。窓は開かず、雨漏りも・・・。

窓枠を交換して屋根の工事をすればトラブル解消。

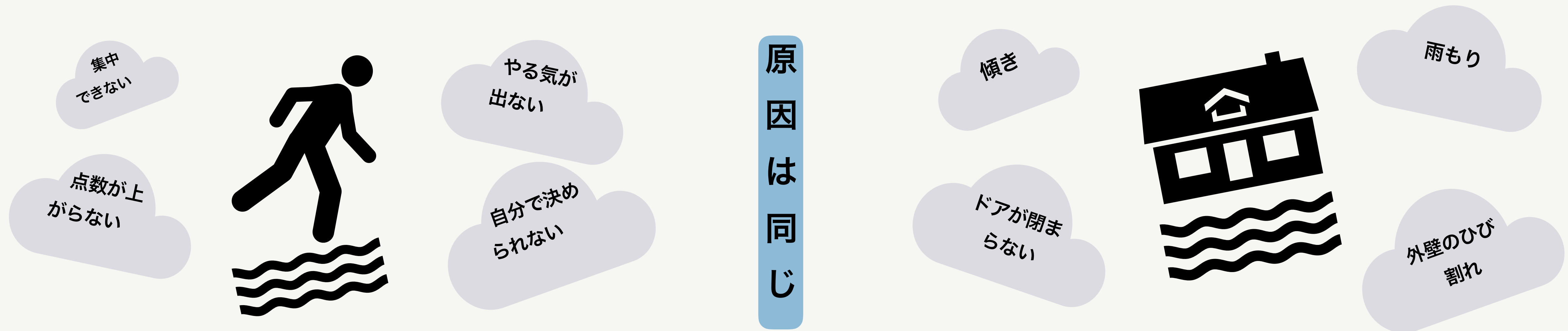
しかし、しばらくすると、同じことの繰り返しだったという話。

そこで専門家が調べたら、傾いた地盤の上に家が建っていたのです。

それでは数々のトラブルが根本的に解決するはずがありません。

お子さまが自分から勉強に取り組めない本当の理由は、
お父さまやお母さまとのこれまでの関わりの中で
無意識のうちに生まれてしまった成長障害の種が存在しているからです。

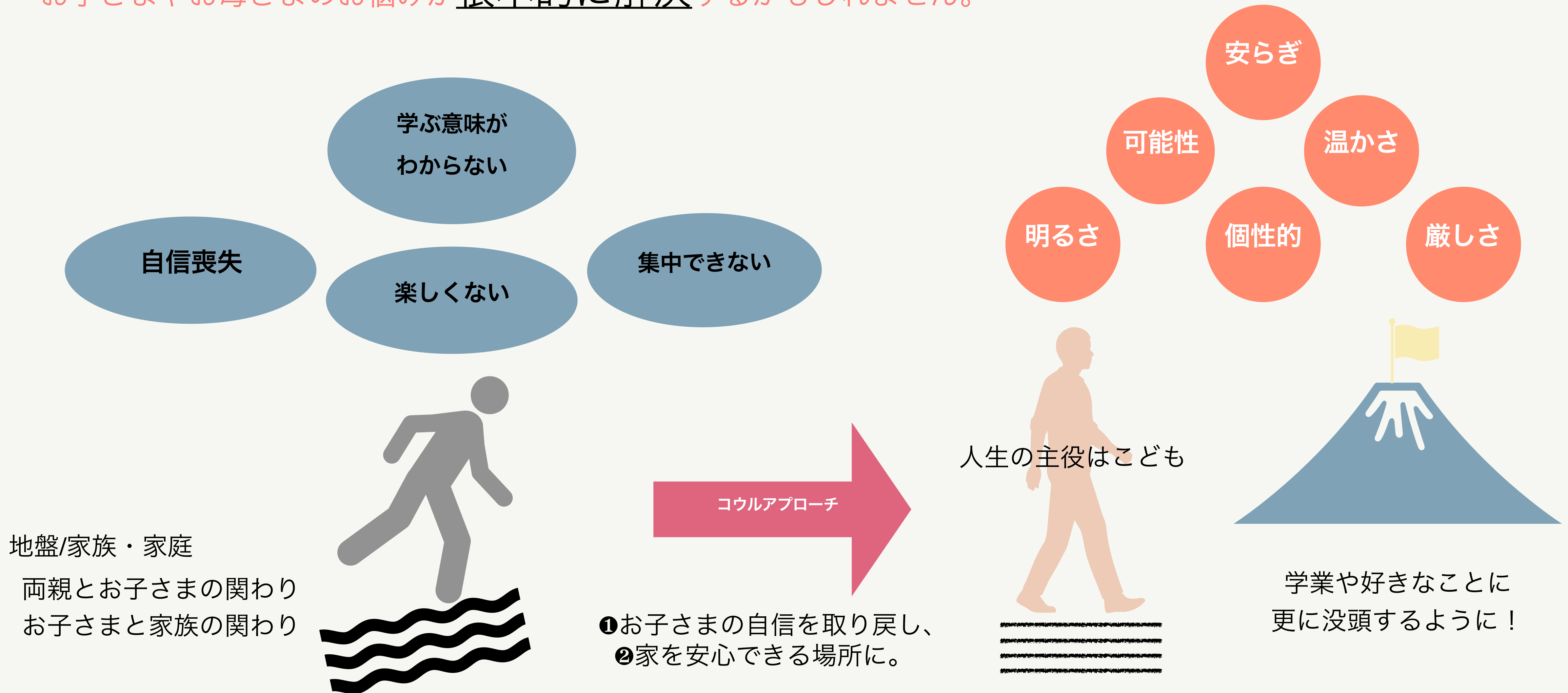
家で例えるとお子さまにとっては、地盤が「家族・家庭」、家がお子さま自身です。
地盤である母と子、父と子の関わりの中で成長障害の種が生まれていると、
心と身体のバランスが崩れ、学習面や生き方そのものに多大な影響を及ぼします。



ですから、子供が自分から積極的に取り組まないから親が管理しようとしたり、子供のやる気がないからガミガミ叱ってしまうという在り方は、お子さまの中にある成長障害の種をますます大きくしてしまい、お子さまにとって根本的な解決策ではなかったということです。

お父さまやお母さまが、お子さまに対して感情的に向かっていく在り方は一旦捨てて頂き、お子さまが持っている成長障害の種を見極め、親子共に根本的な解決に取り組んでいくことで、より自然にやる気を引き出していくためのプログラムをコウルでは実践しています。

親が子供を管理したり、ガミガミ怒るのではなく、
家を、家族の存在をお子さまにとってもっと安心できるものに変えていくことで、
お子さまやお母さまのお悩みが根本的に解決するかもしれません。



こども版

コウルアプローチのステップ

自己決定

挑戦する

関わりの中
心は自分

他者を受け
入れる

自分と向き
合う

自分を大切
にする

内と外

自分を
愛する

自分のリズム
を知る

楽しんで学
ぶ

座学

自己客観視

協働と協同

一般的な学習塾とコウルアプローチの比較

	一般的な学習塾	コウルアプローチ
目的	受験合格、成績向上、 勉強の仕方を教える	人間力・創造力を育てる、自己の可能性を引き出す、行動の変化
主題	一定の知識、情報、 あるべき論、逆算管理	自分自身
方法	レクチャー、教わる、訓練	自己発見、自己実現を目指す、自己表現、体系的な体験学習、つかみとる
学習領域	頭の学習 記憶 分析 知る	体験する 感じ取る 分かる
求める対象	受動的・能動的な生徒	能動的な生徒とご家族

入塾前後のコウルメイトの変化

	入塾前	入塾後
決定	他者依存	自己決定
勉強の捉え方	つまらない 楽しくない	楽しくないのなら 自分で楽しくなるように工夫する
親子関係	喧嘩 子供が何を考えているかわからない	穏やか 安心 対話
塾へ向かう直前の様子	渋々、嫌々	積極的
卒業後の変化	類型的	個性的 感情表現 エネルギーッシュ
問題発生時原因の着眼点	環境 他者	自分自身
親の姿勢	深入り 妨げ	こどもに委ねる 信頼

過去を変えることはできません。

ですが、今が変われば未来も変わり、過去の見え方も変わっていくのです。
お子さまが持っている成長障害要因を見つめ、行動改善していくことで
お子さまの笑顔と輝きを取り戻します。

人間はそれぞれが「目的」と「価値」を持ち、
自分のことは自分で決める（自己決定）の能力をもつ主体的な存在です。

しかし、人間は成長過程において内面に何かしらの成長を障害する種を無意識に持ち始め、
自己の可能性を自ら閉ざしてしまいます。

その種は5歳までの家族との関わりの中で生まれ、
生涯に渡って生き方に影響を及ぼします。

その成長を阻む原因の根っこを見つめ、自覚し、改善していくことで、
お子さまがもともと
持っていた能力や可能性を存分に発揮していく、
それがコウルアプローチです。